

東松島市矢本西小学校060216

難聴学級で国語を教えていて、
物語文などの登場人物を図式にすると
すごく分かりやすくなるのだろうと思った
目からの情報が有意な子どもたち
なので、読んだり、文を書かせるより、
入力がスムーズになるので
教えていただいたことが
揮発してしまわないように実行する

日ごろ子どもたちに指導していることと
同じ話が先生から出され、
自信になった部分があった
言葉では限界であることがよく分かった
今後は分図両道をモットーに指導していきたい

人間の記憶も図解できると感じた 自分は一つの出来事を思い出すとき、
それに関連した出来事を次々と思い出す これも図にするとおもしろいだろう
と思った 「理解」「疑問」「批判」に分けることが考えることという言葉に
なるほどと思った 高学年になると、こういう分類をして表現させるもの
おもしろいと思った

よく仕事柄、「考えなさい」とか
「考える」という言葉や
指導をするが、今日の先生の話から
ああ、こういうことかも、
と思い当たった 深い処理を
する行為が、「考える」ということだ
という点に納得した

まず、やってみようか、という気持ちになった
「教育計画」あらチャレンジしたい
図にするまで、とても「考える」と思うが、
その過程で自分のやらなければならない仕事の中身が
明確になっていくのだろうと思った

文章を図に表すことで分かりやすくなり、
そのまま考えることにつながる
ということ、なるほど と思った

思い返してみると、考えるとき、私も囲みをしたり、
矢印をしている なるほど、これが
考えることなのだなあ、と納得がいった